

小型ウェイングライシメータ 蒸発散量測定装置 CNK-NS-10

特 徴

従来のたらい方式の蒸発計は、水面からの蒸発ですから、自然地表面からの蒸発を推定することは困難でした。この小型ウェイングライシメータは、切り抜いた地面の重さの変化を精密なロードセルにより連続記録することで蒸発散量を測定します。自然に近い地表面からの蒸発散量の測定が可能です。森林内・畑地など、これまで蒸発散量推定の困難な地域での測定が可能です。C-CR1000と組み合わせることによって、野外での無電源・長期間の連続測定が可能です。降水量も測定できます。C-CR1000標準品 1台に3台のライシメータが接続できます。



仕 様

直径×深さ	20cm×30cm	温度の影響	夜間の重さの差で影響を最小にする。
検出部	ロードセル2個	排水方式	サイホン方式(排水先が必要です)
測定範囲	約 10kg×2	大きさ (外形)	重量 約 10kg(土の重さを除く)
分解能	2.5g		円筒部分 230φ×500Dmm
換算蒸発量(雨量)	0.08mm		円筒収納部分 100W×640Lmm
精度	0.1%FS(0.3mm)	測定方法	C-CR1000 の命令 6 を使用

設 置 設置は、1日かかりとなります。排水方法など、当社へお問い合わせ下さい。

自動採水器 CNB-3700 / 3700C

概 要

ISCO 社の自動サンプラーをコントロールできます。雨量・水位などの条件を自由に決めて制御できます。更に、通信回線を組み合わせると、河川状況をリアルタイムにモニターしながらサンプラーを手動で制御可能です。



採水プログラム

データロガーC-CR1000などと組み合わせることにより、水位、雨量、水質(pH, EC)と連動した採水が可能になり、無駄な採水を省けます。例えば、降水後、水位上昇を確認してから1時間毎に採水、水位ピーク後は5cm水位減少毎に採水など。

採水器独自機能

採水モード	採水間隔:定時間隔、不定時間間隔、流量間隔、流量間隔/時間間隔切替
採水間隔の設定	1分単位で設定可能(時間間隔t-t) 1パルス単位で設定可能(流量間隔t-t) 1分単位で999分まで、又は時計による設定可能(不定時間間隔t-t)
採水リトライ	0~3回までの自動繰り返し採水の設定が可能
プログラムロック	パスワードによるプログラムの保護が可能
採水チューブ	長さ:0.9m~30m 1m~30m(CNB-3700C)
使用温度範囲	0℃~50℃
電源	12VDC、3AMAX

仕 様

採水本数	500cc PP ボトル 24 本(CNB-3700C) 1000ccPP ボトル 24 本(CNB-3700)
寸法(3700)	重量 61.4cm 高×50.5cm 直径 16.8kg(CNB-3700)
寸法(3700C)	モデル CNB-3700C は小型化したタイプ のサンプラーです。70.5cm 高×直径 45cm、本体重量 11.3kg
最大採水高さ	7.9m

蒸発皿 (蒸発パン) CBLV-EVP

概 要

WMO クラス A 規格の蒸発皿

ステンレス製なので錆がほとんどなく、塗装の手間がありません。既存の蒸発計感部と互換性があるので、水道ホースでそのまま置き換えて接続可能

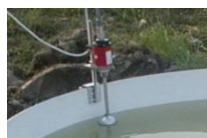
[蒸発計の設置方法]

芝生の上に、木製のすのこ、その上に蒸発皿を水平にのせて、測定します。地面の上に直接置くと、蒸発皿が腐食しやすく、また、地温の影響を受けやすくなります。



仕 様

大きさ	直径 120cm 高さ 25cm
重量	約 20kg
測定範囲	0-200mm
分解能	水位計に依存
測定方式	水位計による
材質	SUS304



↑蒸発皿と磁歪式水位計
高精度な蒸発測定が可能です



↑データ収録装置の例
C-CR1000 及び、電源
(乾電池)、計測ホック



↑三角堰への設置例